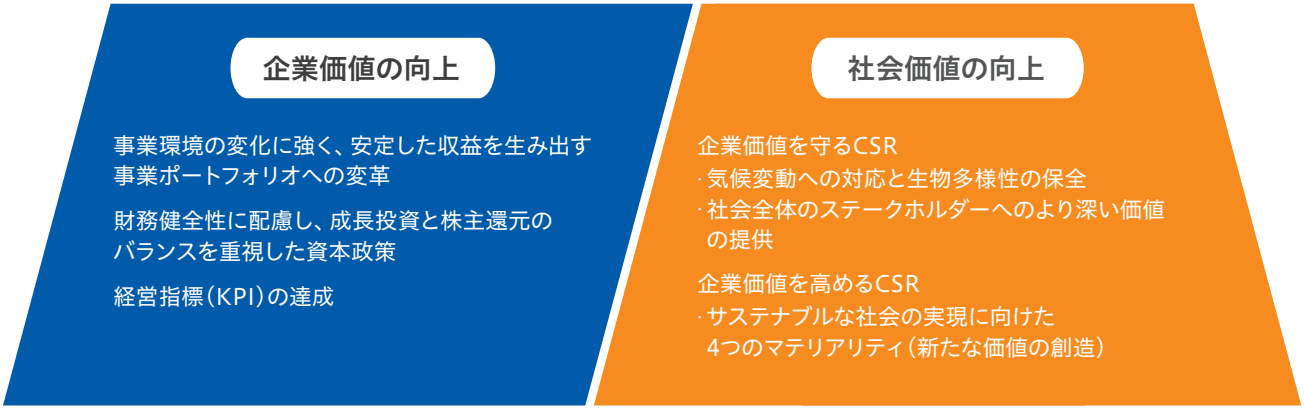
日本曹達グループのESG

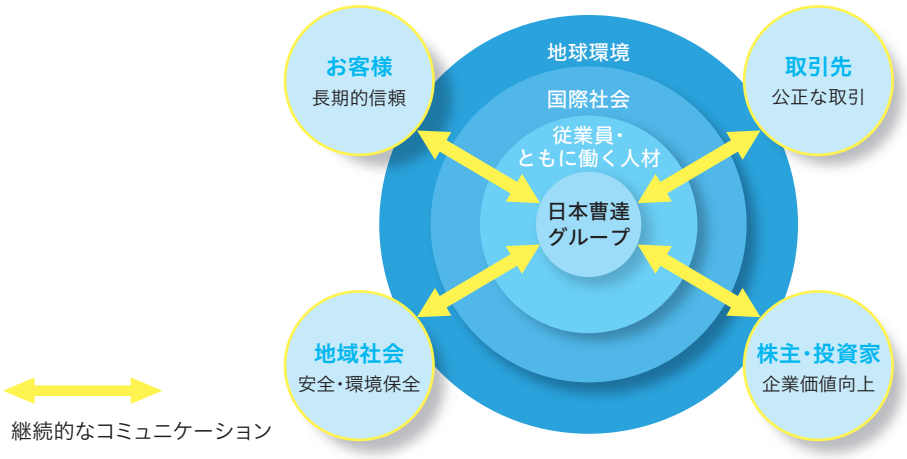
経営の基本方針

当社は、法令を遵守し健全で透明な企業経営を行うことを基本に、「化学」を通じ優れた製品を提供することにより社会の発展に貢献するとともに、株主、取引先、従業員および地域社会等のステークホルダーからの期待と信頼に応え、また、環境に配慮した事業活動を行うことを経営理念としています。この理念のもと、当社は独自の特色ある技術の活用により高付加価値製品の開発を進め、グローバルな視点で化学を中心に事業を展開する、技術指向型の企業グループを目指しています。また、当社は化学領域を中心とした商社・物流・エンジニアリングなどの事業を展開し、グループとしての収益力向上を図ってまいります。

ESG経営の考え方

日本曹達グループは、新たな価値を化学の力で創造し、「社会への貢献」を通じ「企業価値の向上」を実現することをミッションとしており、2020年代の顧客と社会環境に求められる製品・サービスを通じて社会に貢献します。日本曹達グループのミッションと持続的成長の実現には、企業価値の向上と社会価値の向上を両輪経営が重要であると考えています。そして、社会価値の向上を具体化するものがESG経営の実践であり、「企業価値を守るCSR」と「企業価値を高めるCSR」という2つの観点で取り組みを推進していきます。



ステークホルダー

日本曹達グループは、株主・投資家、取引先、従業員、地域社会の方々など、あらゆるステークホルダーの皆様からの期待と信頼に応え、環境に配慮した事業活動を行うことを経営理念としています。社会の持続可能な発展に大きな役割を果たし、同時に自らも発展を続け、日本曹達グループは21世紀の社会から求められる化学企業グループとして、これからも独創的な技術・製品を通じて次世代の夢を実現する豊かな社会づくりに貢献していきます。